

やけどをした



～受診した方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

※体の表面のおよそ1割におよぶ広範囲のやけどの場合は119番へ。

※顔のやけどや熱気（熱い煙や蒸気）を吸い込んだ場合も119番へ。

- 範囲が子どもの手のひらより広い。
- 水ぶくれができています。
- やけどのところが、白色のとき。
- 手のひらや、関節のやけど。

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ P9

医師に伝える・
相談するポイント

▶ 本人の様子、どうやってやけどをしたか、いつ、どこを、どれくらいの部分か（具体的に）

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 十分に冷やしましょう。
流水（水道水）でも、氷水でもかまいません。流水は直接やけどにあてないようにし、20～30分をめやすに冷やしましょう。
※市販されている冷却シートは使いません。
- 衣服が皮膚にくっついているときは、脱がさずにそのまま衣服の上から冷やしましょう。
- やけどをしたところには、なるべく触らないようにしましょう。

※但し、症状が大きく変わったら、電話相談窓口（P9）へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。